

ページ

アイサワ工業(株).....	43, 45, 46, 48, 64
青木あすなる建設(株).....	27, 34, 43, 48
あおみ建設(株).....	43, 48
(株)浅沼組.....	43
(株)新井組.....	43
(株)安藤・間.....	43
岩田地崎建設(株).....	43, 48
梅林建設(株).....	43
(株)大林組.....	43, 45, 46, 48
(株)大本組.....	43, 84
(株)奥村組.....	3, 43, 46, 48, 63, 64
鹿島建設(株).....	43, 48, 63, 64, 67
株木建設(株).....	43, 48
(株)クボタ.....	43, 48
(株)熊谷組.....	43, 48
(株)鴻池組.....	43, 48
五洋建設(株).....	43
佐藤工業(株).....	9, 43, 48
三幸建設工業(株).....	43
清水建設(株).....	23, 43, 48
大成建設(株).....	43, 48
大日本土木(株).....	43
大豊建設(株).....	43
(株)竹中土木.....	43, 48
TSUCHIYA(株).....	43
鉄建建設(株).....	43, 48, 81
東急建設(株).....	43, 48
東洋建設(株).....	43, 48
戸田建設(株).....	43
飛鳥建設(株).....	37, 43, 48
西松建設(株).....	35, 43, 48
日東河川工業(株).....	43, 48
日特建設(株).....	43, 48
日本基礎技術(株).....	43, 48
日本国土開発(株).....	43
(株)ピーエス三菱.....	43
(株)フジタ.....	36, 43, 48
(株)北陽.....	43, 48
(株)本間組.....	43
前田建設工業(株).....	43, 48
松尾建設(株).....	43
三井住友建設(株).....	43
みらい建設工業(株).....	43, 48
りんかい日産建設(株).....	43, 46, 48, 49
若葉建設(株).....	43, 48

土地改良

第326号

令和6年7月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4

農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

http://www.dokaikyo.or.jp/

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。



「座談会 平成30年災から5年を経て」を 拝読、首肯

広島県出身のため、あの豪雨災は記憶に刻まれている。当時、静岡県からも復旧応援で呉市に職員を派遣した。

座談会後半で「災害復旧とは効用の回復である」「再度災害を防止する」という言葉が出てくるが、このような考え方を是非浸透させるべきだと考える。

また、「リダンダンシー」や「被災時のダメージや復旧期間も含めた検討により最小限の機能保持ができる」設計の考え方も、頻発化する激甚災害への備えとして重要かつ有効なものだと思われる。

このような考え方が明文化され、新たな技術やリスク管理手法に繋がることを期待する。

静岡県 50代男性 地方公務員

ドボジョの先駆者として 更なる活躍に期待

『ドボジョ』とは、最近では女性土木技術者の活躍が多くなり、聞きなれた言葉となりましたが、一昔前までは『ハテと?』土木の世界は男性社会であり、『ドボジョ』という言葉は馴染みがありませんでした。その中で工事現場と家庭の両立を図るのは大変な苦労があったことと思います。これから、土木業界も女性の進出により職場の多様性が進み、現場環境や安全管理の向上に大いに貢献出来るものと思われま。

こうした状況を女性の視点から、ドボジョとしての経験を、男女問わずこれから担う若手技術者の育成に役立てて頂ければと思います。

宮城県 70代男性 会社員

蘇る大地の記事を拝見いたしました。

昨年末、紅まどんなを初めて食し大感

激しました。最高の果実です。佐古ダムが道後平野を潤してこの美味しい果実が生産されていることがわかりました。さまざまな研究、努力により消費者に美味しいものが届けられる。紅まどんなはまだ生産量が少ないのか遠方のスーパー等では手に入りません。たくさんの方に届くようになってほしいです。ドボジョ今昔物語も毎回大変興味深く読んでおります。

静岡県 女性 地方公務員

100年後を想う

私は、加藤章さんの「虹の用水の思いを継いで」を拝見し、土地改良事業の魅力さをさらに、そして強く意識することとなりました。

土地改良事業の影響は対象農家はもちろんのこと、その地域全体の活性化へ繋がること、さらに言えば地域の100年後の未来を背負っていることに壮さを感じました。また、土地改良事業は人の暮らしの基盤を造るのだと実感し、土地改良に関わる仕事をする者として事業に対する意欲がより一層高まりました。

自分が関わる地区の100年後を想い、今後とも業務に向き合っていきたいと思います。

静岡県 20代男性 団体職員

自分の大学時代とこれからを考える

大学生の技術研究所見学会が開催された記事を読ませていただきました。自分の大学時代を顧みると紛れもなく意識の低い学生でしたが、いざ職業として農業農村工学と向き合うと、この分野の奥深さや面白さに改めて気づかされるがあります。

新・担い手3法が改正され、自分を含む若手の技術力向上、生産性向上が、今後より一層求められていく時代になっていく中で、本誌では今後も新技術や企業の新たな取組を取り上げていただけると嬉しく思います。

栃木県 20代男性 団体職員

本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい(掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます)。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「浜名湖産うなぎ 長蒲焼」をご用意しております。
[8月末日締切]

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4

土地改良建設協会「くろすおーばー」係

メールアドレス jigyo@dokaikyo.or.jp

PRESENT

浜名湖産うなぎ 長蒲焼

